

第 56 回「秋田県内企業の景気動向調査」結果

(2025 年 5 月調査)

～ 景況感は 2 期ぶりに悪化。先行きも悪化の見通し ～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲11.7（前回調査比 6.8 ポイント下落）と 2 期ぶりに悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「資金繰り」が改善したものの、「売上高」「営業利益」がともに悪化となった。また、「人員人手」はプラス幅が縮小した。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、サービス業が 3 期連続で改善となったものの、建設業が 2 期ぶりに悪化となったほか、製造業、卸・小売業でも 3 期ぶりの悪化となった。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、県北が▲7.5（前回調査比 1.4 ポイント上昇）、県南が▲10.3（同 5.2 ポイント上昇）とともに改善したものの、中央は▲13.7（同 16.0 ポイント下落）の悪化となった。
- **先行き**見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲14.9（今回調査比 3.2 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

【 特別調査 】

- **夏季ボーナスの支給動向**について尋ねたところ、回答企業（308 社）の 66.6%が「支給する」と回答した。この割合は、前年調査（63.7%）から 2.9 ポイント増加となっている。一方、「支給しない」と回答した企業の割合は 12.0%で、前年調査（10.6%）から 1.4 ポイント増加した。
- **春季以降の賃金改定動向**について春季以降の賃金改定動向についてうかがったところ、全業種では「賃上げを実施する（した）」と回答した企業は 64.2%となり、前年調査（61.3%）から 2.9 ポイント上昇した

2025 年 5 月

株式会社フィデア情報総研

目次

I. 県内企業の業況	3
1. 概況	3
2. 業種別の動向	4
(1) 業種別の概況	4
(2) 業種別 D I 値の動向	5
① 建設業	5
② 製造業	6
③ 卸・小売業	7
④ サービス業	8
3. 地域別の動向	9
(1) 地域別の概況	9
(2) 地域別 D I 値の動向	10
① 県北	10
② 中央	11
③ 県南	12
II. 景気の天気予報図	13
III. 特別調査	14
1. 夏季ボーナスの支給動向について	14
(1) 支給予定動向	14
(2) 支給予定額について	16
2. 春季以降の賃金改定動向について	18
<参考資料 I : 業種別・地域別回答率>	19
<参考資料 II : 調査の概要>	19

I. 県内企業の業況

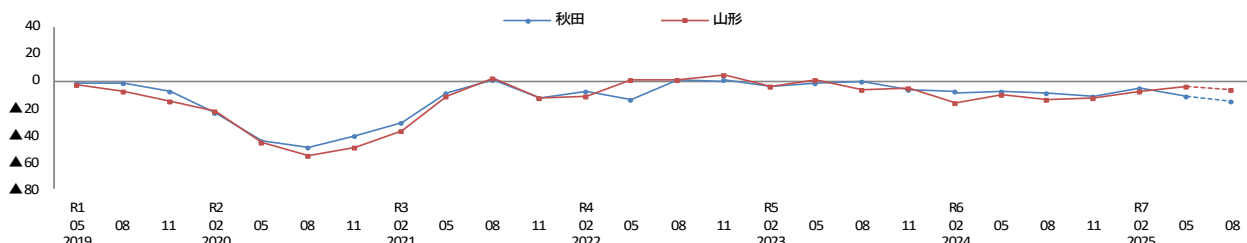
1. 概況

～ 景況感は 2 期ぶりに悪化。先行きも悪化の見通し ～

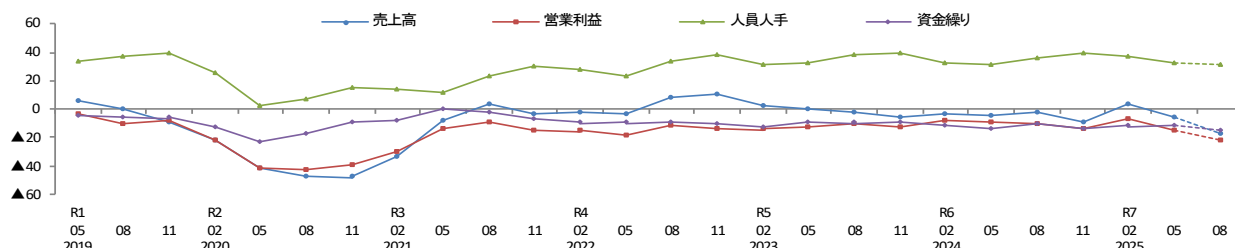
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲11.7（前回調査比 6.8 ポイント下落）と 2 期ぶりに悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「資金繰り」が小幅ながら 2 期連続で改善したもの、「売上高」「営業利益」がともに 2 期ぶりの悪化となった。また、「人員人手」は 2 期連続でプラス幅が縮小した。

先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲14.9（今回調査比 3.2 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 1 全業種「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

全業種 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2024.05 (n=339)	▲ 8.0	0.2	▲ 19.2	▲ 4.7	▲ 9.2	31.5	▲ 14.1
2024.08 (n=322)	▲ 8.7	▲ 0.7	▲ 14.7	▲ 2.2	▲ 10.3	36.0	▲ 10.6
2024.11 (n=314)	▲ 11.4	▲ 2.7	▲ 12.1	▲ 8.9	▲ 13.7	39.2	▲ 14.0
2025.02 (n=323)	▲ 4.9	6.5	▲ 13.4	3.4	▲ 6.5	36.9	▲ 12.0
2025.05 (n=308)	▲ 11.7	(▲ 6.8)	▲ 25.1	▲ 5.2	▲ 15.2	32.8	▲ 11.7
前回調査比	-	-	-	(▲ 8.6)	(▲ 8.7)	(▲ 4.1)	(0.3)
先行き見通し	▲ 14.9	-	-	▲ 17.2	▲ 21.4	31.2	▲ 14.6
今回調査比	(▲ 3.2)	-	-	(▲ 12.0)	(▲ 6.2)	(▲ 1.6)	(▲ 2.9)

※ 「売上高」D I 値は、建設業の「完成工事高」を含んだ値。

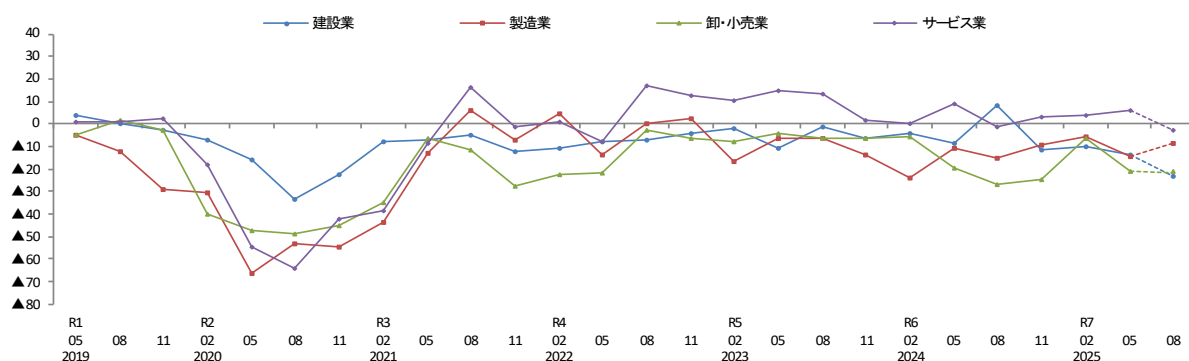
2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、サービス業が 3 期連続で改善となったものの、建設業が 2 期ぶりに悪化となったほか、製造業、卸・小売業でも 3 期ぶりの悪化となった。

業況の先行き見通しは、製造業では改善が見込まれる一方、その他の 3 業種ではいずれも悪化の見通しとなっている。

図表 3 業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
2024.05 (n=339)	▲ 8.0	▲ 8.7	▲ 10.6	▲ 19.8	8.6
2024.08 (n=322)	▲ 8.7	8.1	▲ 15.1	▲ 26.7	▲ 1.3
2024.11 (n=314)	▲ 11.4	▲ 11.6	▲ 9.4	▲ 25.0	2.8
2025.02 (n=323)	▲ 4.9	▲ 10.4	▲ 5.6	▲ 6.2	3.9
2025.05(n=308)	▲ 11.7	▲ 13.9	▲ 14.3	▲ 20.9	6.1
前回調査比	(▲ 6.8)	(▲ 3.5)	(▲ 8.7)	(▲ 14.7)	(2.2)
先行き見通し	▲ 14.9	▲ 23.3	▲ 8.6	▲ 21.0	▲ 3.0
今回調査比	(▲ 3.2)	(▲ 9.4)	(5.7)	(▲ 0.1)	(▲ 9.1)

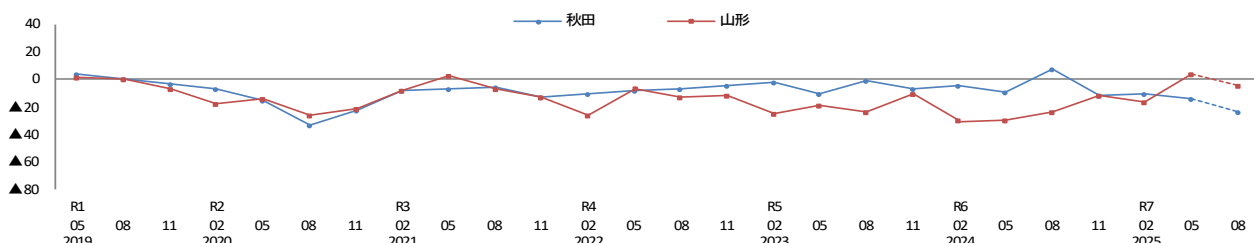
(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

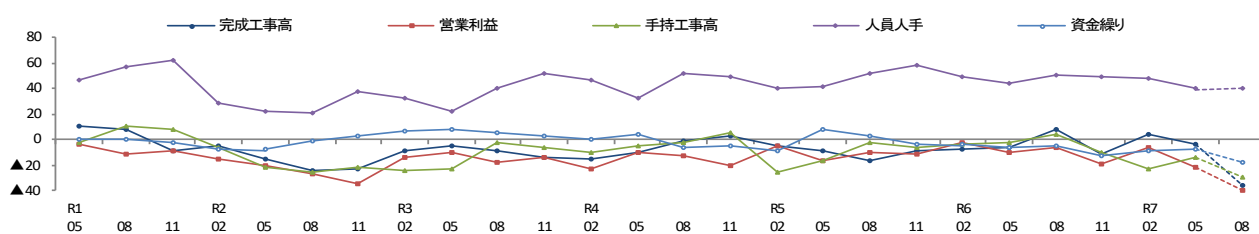
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲13.9（前回調査比 3.5 ポイント下落）と 2 期ぶりに悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「手持工事高」「資金繰り」が改善したものの、「完成工事高」「営業利益」がともに悪化となった。また、「人員人手」は 3 期連続でプラス幅が縮小した。各社のコメントからは、災害関連以外の公共工事の減少や、建築費の上昇から民間設備投資や住宅着工が落ち込んでいる状況が窺え、先行きを懸念するコメントが多く見られた。

先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲23.3（今回調査比 9.4 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

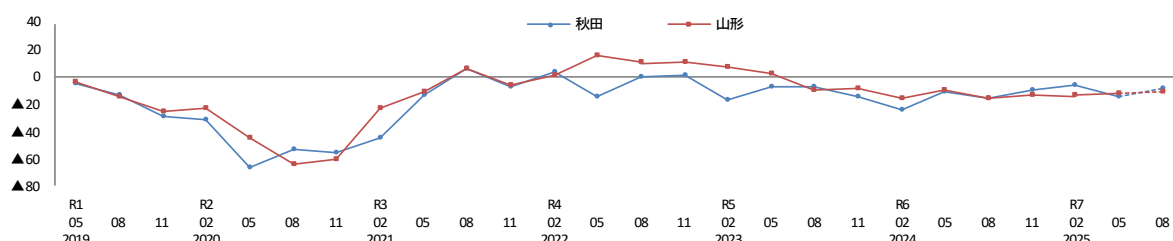
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
2024.05 (n=92)	▲ 8.7	▲ 4.4	▲ 14.9	▲ 6.6	▲ 9.8	▲ 2.2	44.6	▲ 6.5
2024.08 (n=87)	8.1	16.8	▲ 19.6	8.1	▲ 6.9	3.4	50.6	▲ 4.6
2024.11 (n=86)	▲ 11.6	▲ 19.7	▲ 2.3	▲ 11.7	▲ 19.8	▲ 10.5	48.8	▲ 12.8
2025.02 (n=86)	▲ 10.4	1.2	▲ 16.3	4.6	▲ 7.0	▲ 23.2	47.7	▲ 9.3
2025.05 (n=86)	▲ 13.9	(▲ 3.5)	▲ 24.5	▲ 3.5	▲ 22.1	▲ 14.0	40.6	▲ 8.2
前回調査比	-	-	-	(▲ 8.1)	(▲ 15.1)	(9.2)	(▲ 7.1)	(1.1)
先行き見通し	▲ 23.3	-	-	▲ 36.0	▲ 39.5	▲ 30.2	40.7	▲ 18.6
今回調査比	(▲ 9.4)	-	-	(▲ 32.5)	(▲ 17.4)	(▲ 16.2)	(0.1)	(▲ 10.4)

② 製造業

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲14.3（前回調査比 8.7 ポイント下落）と 3 期ぶりに悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「在庫状況」が 2 期連続で改善したものの、「売上高」「営業利益」「仕入価格」「資金繰り」がいずれも悪化となった。また、「人員人手」は 2 期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントからは、原材料費の上昇傾向が続いており、価格転嫁に苦慮する状況が窺えたほか、トランプ関税による経済情勢の混乱を危惧するコメントが多く寄せられた。

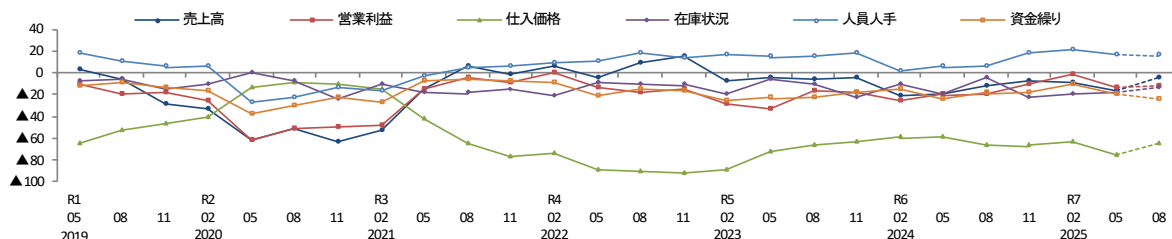
業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲8.6（今回調査比 5.7 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 7 製造業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

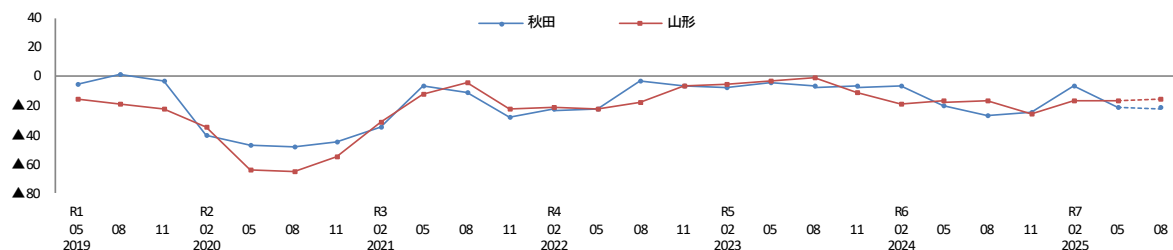
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2024.05 (n=75)	▲ 10.6	13.7	▲ 21.6	▲ 18.7	▲ 20.0	▲ 58.7	▲ 20.0	6.7	▲ 24.0
2024.08 (n=73)	▲ 15.1	▲ 4.5	▲ 1.3	▲ 11.0	▲ 19.2	▲ 65.8	▲ 4.1	6.9	▲ 17.8
2024.11 (n=74)	▲ 9.4	5.7	▲ 13.7	▲ 6.8	▲ 10.8	▲ 66.2	▲ 21.6	18.9	▲ 17.6
2025.02 (n=71)	▲ 5.6	3.8	▲ 8.1	▲ 8.4	▲ 1.4	▲ 63.4	▲ 19.7	21.1	▲ 9.8
2025.05 (n=70)	▲ 14.3	(▲ 8.7)	▲ 19.7	▲ 15.7	▲ 12.9	▲ 75.7	▲ 17.2	17.2	▲ 20.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 7.3)	(▲ 11.5)	(▲ 12.3)	(2.5)	(▲ 3.9)	(▲ 10.2)
先行き見通し	▲ 8.6	-	-	▲ 4.3	▲ 11.5	▲ 65.7	▲ 12.9	17.1	▲ 24.2
今回調査比	(5.7)	-	-	(11.4)	(1.4)	(10.0)	(4.3)	(▲ 0.1)	(▲ 4.2)

③ 卸・小売業

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲20.9（前回調査比 14.7 ポイント下落）と 3 期ぶりに悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「営業利益」「仕入価格」がともに改善したものの、「売上高」「在庫状況」「資金繰り」がいずれも悪化となった。また、「人員人手」は 3 期連続でプラス幅が縮小した。各社のコメントからは、仕入価格の上昇による利益率の確保が課題となっている状況が窺えたほか、消費者の節約志向による買い控えの強まりや地方人口の減少などにより将来を懸念するコメントなども見られた。

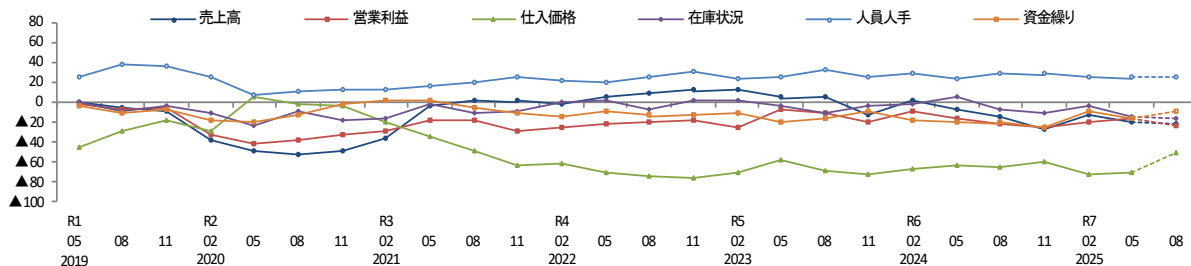
業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲21.0（今回調査比 0.1 ポイント下落）と小幅な悪化が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 9 卸・小売業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

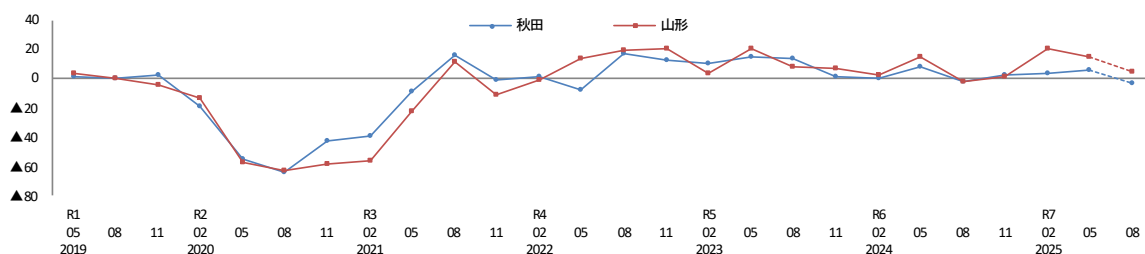
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2024.05 (n= 91)	▲ 19.8	▲ 13.9	▲ 17.6	▲ 7.7	▲ 16.5	▲ 64.8	5.5	24.2	▲ 19.8
2024.08 (n= 86)	▲ 26.7	▲ 6.9	▲ 24.2	▲ 14.0	▲ 22.1	▲ 66.3	▲ 8.1	29.1	▲ 20.9
2024.11 (n= 84)	▲ 25.0	1.7	▲ 29.1	▲ 28.5	▲ 26.2	▲ 60.7	▲ 10.7	28.6	▲ 25.0
2025.02 (n= 89)	▲ 6.2	18.8	▲ 19.0	▲ 13.5	▲ 19.7	▲ 74.0	▲ 3.7	25.9	▲ 9.9
2025.05 (n= 86)	▲ 20.9	(▲ 14.7)	▲ 7.5	▲ 19.8	▲ 17.4	▲ 70.9	▲ 15.1	24.4	▲ 17.5
前回調査比	-	-	-	(▲ 6.3)	(2.3)	(3.1)	(▲ 11.4)	(▲ 1.5)	(▲ 7.6)
先行き見通し	▲ 21.0	-	-	▲ 22.1	▲ 23.3	▲ 51.2	▲ 17.4	24.4	▲ 9.3
今回調査比	(▲ 0.1)	-	-	(▲ 2.3)	(▲ 5.9)	(19.7)	(▲ 2.3)	(0.0)	(8.2)

④ サービス業

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 6.1（前回調査比 2.2 ポイント上昇）と 3 期連続の改善となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「営業利益」が 2 期連続で悪化したものの、「売上高」「資金繰り」がいずれも改善となった。また、「人員人手」はプラス幅が拡大した。各社のコメントをみると、物価上昇や賃金上昇による収益の圧迫や人手不足による供給制約などを挙げるコメントが多く寄せられた。また、少数ではあるがインバウンド需要が増加しているとのコメントも見られた。

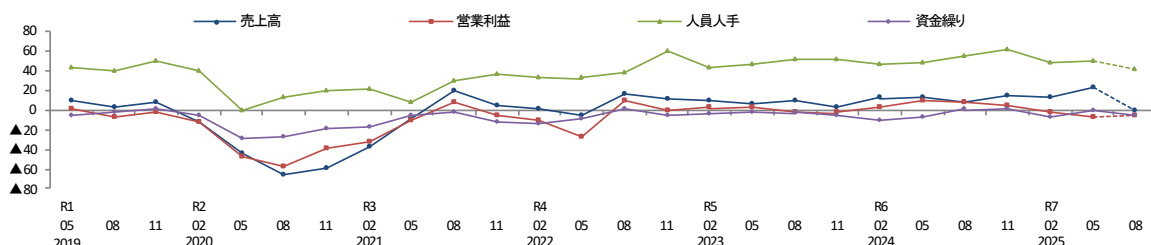
業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲3.0（今回調査比 9.1 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 11 サービス業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2024.05 (n=81)	8.6	8.6	▲ 23.7	13.6	9.9	48.1	▲ 7.4
2024.08 (n=76)	▲ 1.3	▲ 9.9	▲ 11.1	7.9	7.9	55.3	1.3
2024.11 (n=70)	2.8	4.1	▲ 2.7	15.7	5.7	61.4	1.5
2025.02 (n=77)	3.9	1.1	▲ 8.6	13.0	▲ 2.6	49.3	▲ 6.5
2025.05 (n=66)	6.1	(2.2)	▲ 20.8	22.7	▲ 6.1	50.0	0.0
前回調査比	-	-	-	(9.7)	(▲ 3.5)	(0.7)	(6.5)
先行き見通し	▲ 3.0	-	-	0.0	▲ 6.0	42.4	▲ 6.0
今回調査比	(▲ 9.1)	-	-	(▲ 22.7)	(0.1)	(▲ 7.6)	(▲ 6.0)

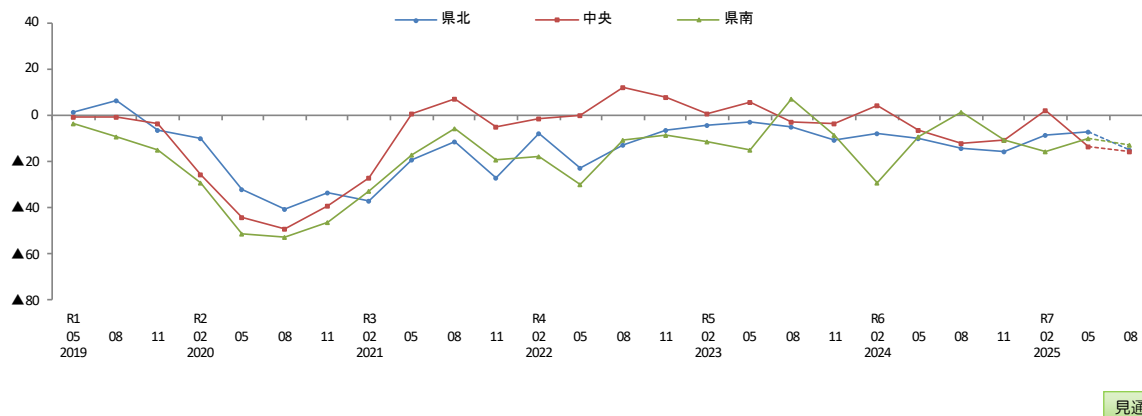
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、県北が▲7.5（前回調査比 1.4 ポイント上昇）、県南が▲10.3（同 5.2 ポイント上昇）とともに改善したものの、中央は▲13.7（同 16.0 ポイント下落）の悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、県北、中央、県南すべての地域で悪化が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			
	全地域	県北	中央	県南
2024.05 (n=339)	▲ 8.0	▲ 10.0	▲ 6.6	▲ 9.3
2024.08 (n=322)	▲ 8.7	▲ 14.3	▲ 12.0	1.1
2024.11 (n=314)	▲ 11.4	▲ 16.0	▲ 10.5	▲ 10.7
2025.02 (n=323)	▲ 4.9	▲ 8.9	2.3	▲ 15.5
2025.05 (n=308)	▲ 11.7	▲ 7.5	▲ 13.7	▲ 10.3
前回調査比	(▲ 6.8)	(1.4)	(▲ 16.0)	(5.2)
先行き見通し	▲ 14.9	▲ 15.1	▲ 16.1	▲ 12.6
今回調査比	(▲ 3.2)	(▲ 7.6)	(▲ 2.4)	(▲ 2.3)

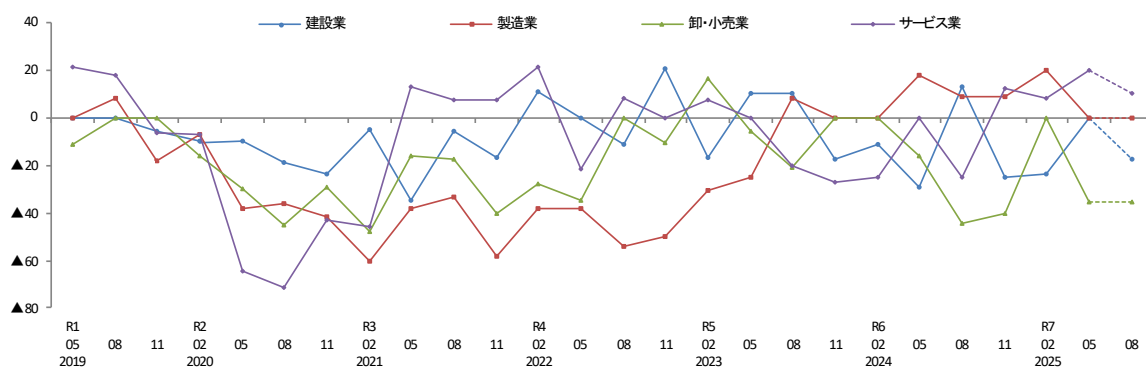
(2) 地域別 D I 値の動向

① 県北

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲7.5（前回調査比 1.4 ポイント上昇）と 2 期連続の改善となった。業種別では、製造業と卸・小売業がともに悪化したものの、建設業とサービス業では改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲15.1（今回調査比 7.6 ポイント下落）と悪化が見込まれている。業種別では、製造業と卸・小売業では横這いの見通しとなった一方、建設業とサービス業では悪化が見込まれている。

図表 13 県北業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

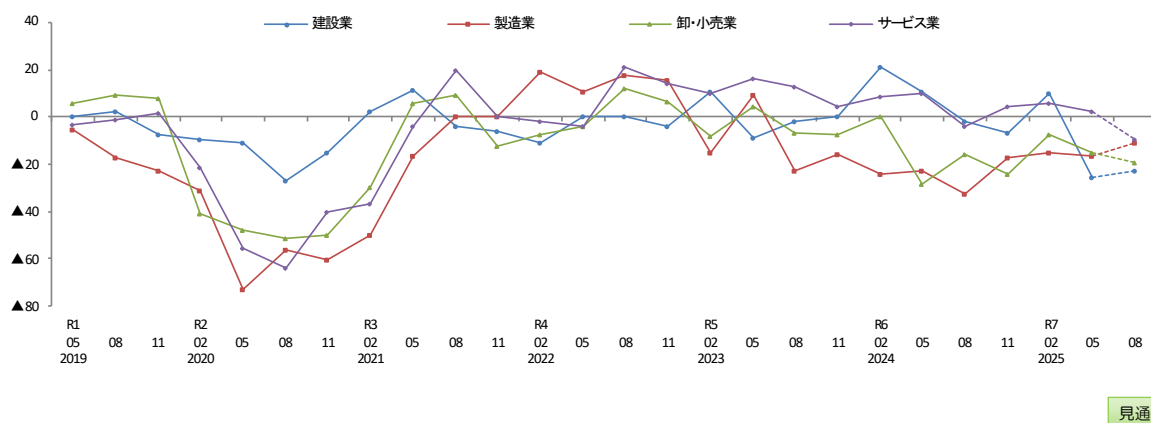
県 北 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
	建 設	製 造	卸・小売	サービ	ス
2024.05 (n=60)	▲ 10.0	▲ 29.4	18.2	▲ 15.7	0.0
2024.08 (n=56)	▲ 14.3	13.3	9.1	▲ 44.4	▲ 25.0
2024.11 (n=50)	▲ 16.0	▲ 25.0	9.1	▲ 40.0	12.5
2025.02 (n=56)	▲ 8.9	▲ 23.5	20.0	0.0	8.3
2025.05 (n=53)	▲ 7.5	0.0	0.0	▲ 35.3	20.0
前回調査比	(1.4)	(23.5)	(▲ 20.0)	(▲ 35.3)	(11.7)
先行き見通し	▲ 15.1	▲ 17.7	0.0	▲ 35.3	10.0
今回調査比	(▲ 7.6)	(▲ 17.7)	(0.0)	(0.0)	(▲ 10.0)

② 中央

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲13.7（前回調査比 16.0 ポイント下落）と 2 期ぶりに悪化となった。業種別では、建設業が大幅に悪化したほか、製造業、卸・小売業、サービス業でも悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲16.1（今回調査比 2.4 ポイント下落）と悪化が見込まれている。業種別では、建設業と製造業では改善の見通しとなった一方、卸・小売業とサービス業では悪化が見込まれている。

図表 14 中央業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

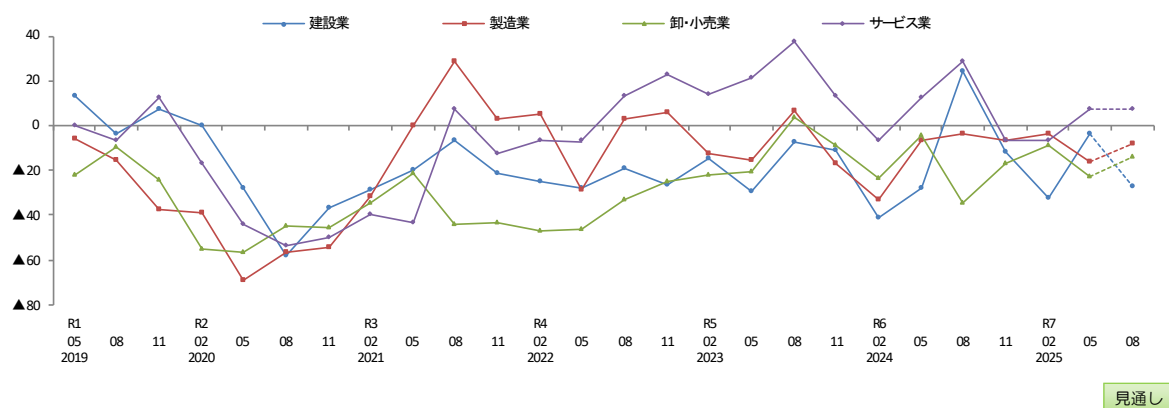
中 央 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
	建 設	製 造	卸・小売	サービ	ス
2024.05 (n=182)	▲ 6.6	10.9	▲ 22.9	▲ 28.6	9.6
2024.08 (n=176)	▲ 12.0	▲ 2.1	▲ 32.4	▲ 15.6	▲ 4.0
2024.11 (n=171)	▲ 10.5	▲ 6.7	▲ 17.6	▲ 24.5	4.3
2025.02 (n=170)	2.3	9.8	▲ 15.2	▲ 7.3	6.0
2025.05 (n=168)	▲ 13.7	▲ 25.6	▲ 16.6	▲ 14.9	2.4
前回調査比	(▲ 16.0)	(▲ 35.4)	(▲ 1.4)	(▲ 7.6)	(▲ 3.6)
先行き見通し	▲ 16.1	▲ 23.2	▲ 11.1	▲ 19.2	▲ 9.5
今回調査比	(▲ 2.4)	(2.4)	(5.5)	(▲ 4.3)	(▲ 11.9)

③ 県南

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲10.3（前回調査比 5.2 ポイント上昇）と 2 期ぶりに改善となった。業種別にみると、製造業と卸・小売業が悪化したものの、建設業とサービス業では改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲12.6（今回調査比 2.3 ポイント下落）と悪化が見込まれている。業種別では、製造業と卸・小売業では改善の見通しとなっており、サービス業では横這いが見込まれている一方、建設業は悪化の見通しとなっている。

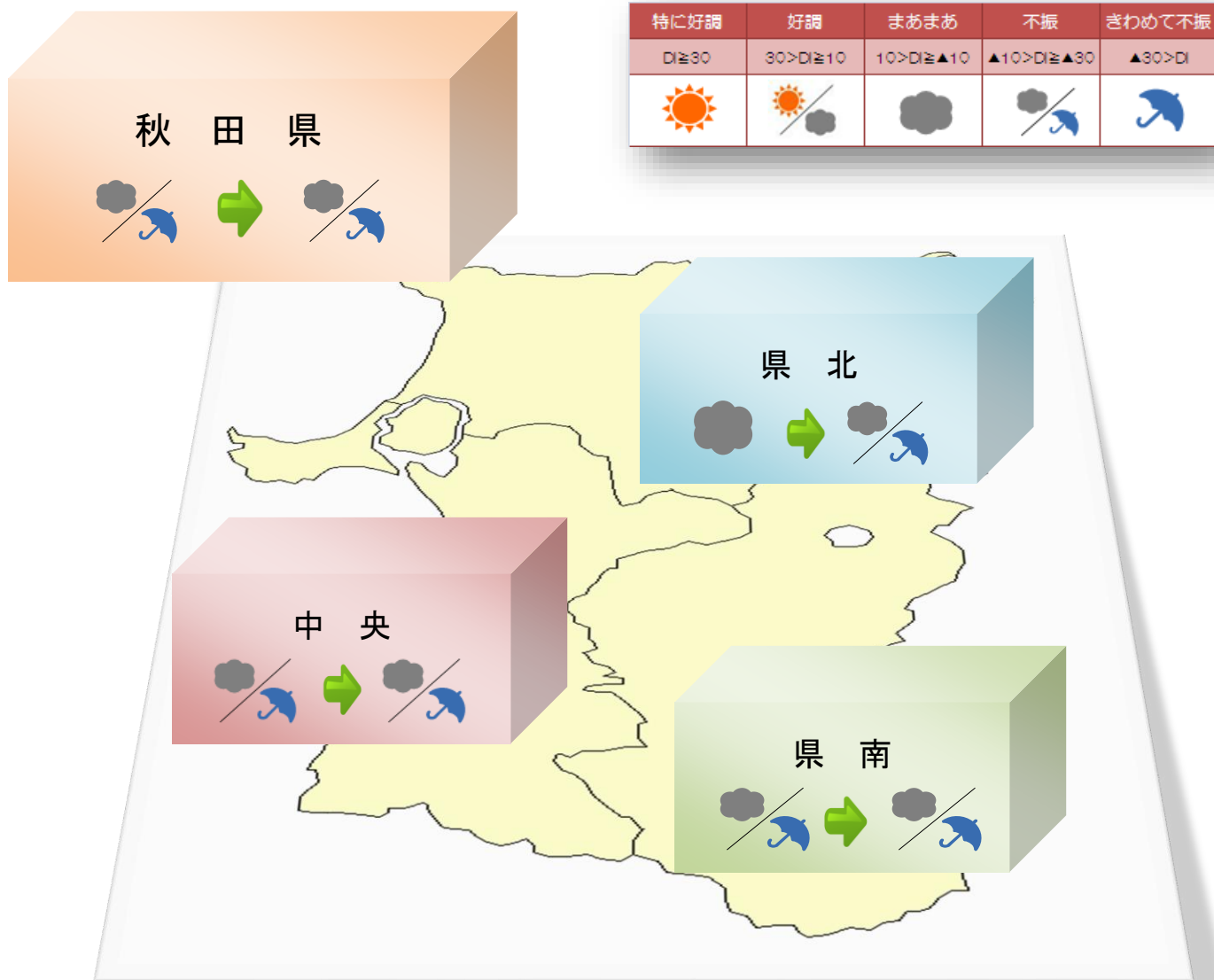
図表 15 県南業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

県 南 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
		建 設	製 造	卸・小売	サービ
2024.05 (n=97)	▲ 9.3	▲ 27.6	▲ 6.9	▲ 4.4	12.5
2024.08 (n=90)	1.1	24.0	▲ 3.6	▲ 34.8	28.6
2024.11 (n=93)	▲ 10.7	▲ 12.0	▲ 6.9	▲ 16.7	▲ 6.7
2025.02 (n=97)	▲ 15.5	▲ 32.1	▲ 3.5	▲ 8.7	▲ 6.7
2025.05 (n=87)	▲ 10.3	▲ 3.8	▲ 16.0	▲ 22.7	7.2
前回調査比	(5.2)	(28.3)	(▲ 12.5)	(▲ 14.0)	(13.9)
先行き見通し	▲ 12.6	▲ 27.0	▲ 8.0	▲ 13.7	7.2
今回調査比	(▲ 2.3)	(▲ 23.2)	(8.0)	(9.0)	(0.0)

Ⅱ. 景気の天気予報図



今期の概況

	秋 田 県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

来期の見通し

	秋 田 県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

Ⅲ. 特別調査

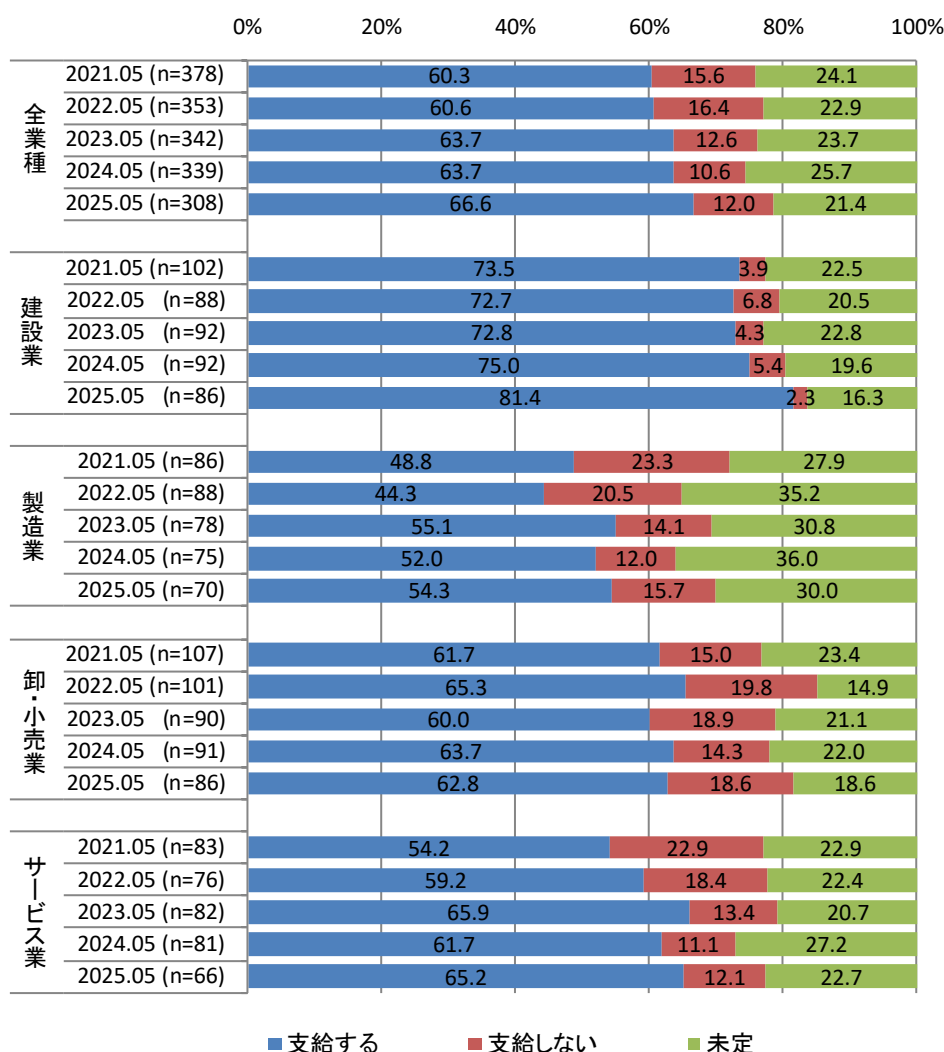
1. 夏季ボーナスの支給動向について

(1) 支給予定動向

夏季ボーナスの支給動向（予定）について尋ねたところ、回答企業（308 社）の 66.6%が「支給する」と回答した。この割合は、前年調査（63.7%）から 2.9 ポイント増加となっている。一方、「支給しない」と回答した企業の割合は 12.0%で、前年調査（10.6%）から 1.4 ポイント増加した。

業種別にみると、「支給する」と回答した企業の割合は建設業が 81.4%で引き続き最も高く、次いでサービス業（65.2%）、卸・小売業（62.8%）、製造業（54.3%）が続き、この割合は卸・小売業で前年より低下したものの、他の 3 業種では上昇となっている。

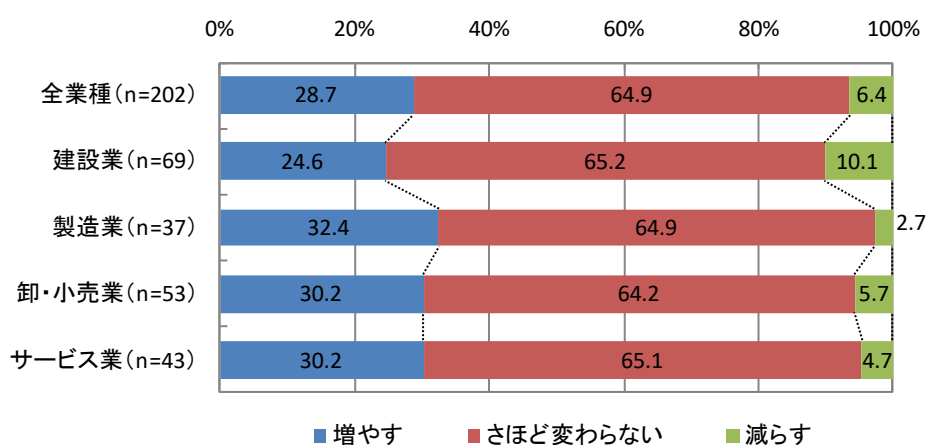
図表 16 業種別「夏季ボーナスの支給動向」



また、今季「支給する」と回答した企業に対し、昨年夏季と比べて支給額を増やすかどうか尋ねたところ、全業種では「さほど変わらない」と回答した企業が 64.9%で最も多く、これに「増やす」とした企業が 28.7%と 2 割台で続いている。

業種別にみると、「増やす」と回答した企業の割合は製造業の 32.4%が最も高く、最も低いのは建設業の 24.6%であった。一方、「減らす」と回答した企業の割合は、建設業で 10.1%と最も高く、製造業は 2.7%で最も低かった。全ての業種で「増やす」の割合が「減らす」の割合を上回っている。

図表 17 業種別 夏季ボーナスを“支給する”企業の方針（昨年夏季比）

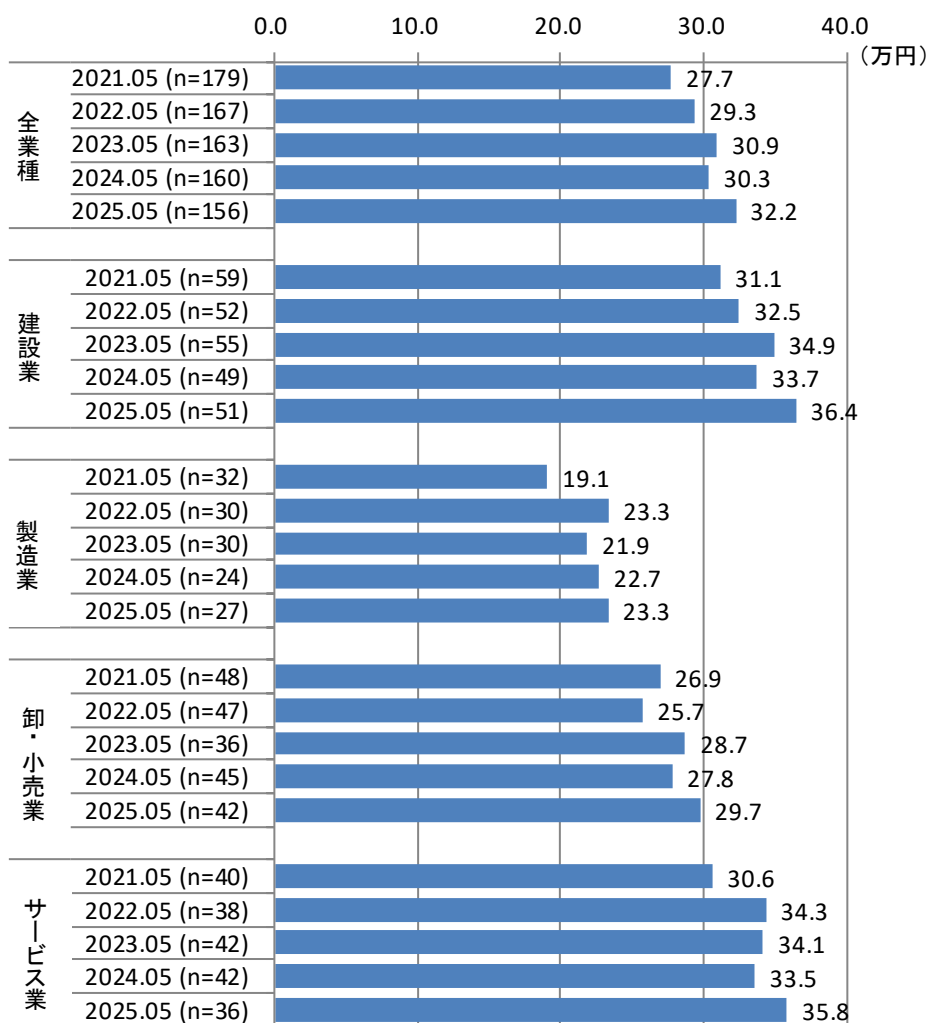


(2) 支給予定額について

夏季ボーナスの支給予定額について尋ねたところ、全業種平均（156 社）で 32.2 万円となり、前年調査に比べて 1.9 万円増加の見込みとなった。

業種別の平均支給予定額をみると、すべての業種で前年比増加の見込みとなっている。

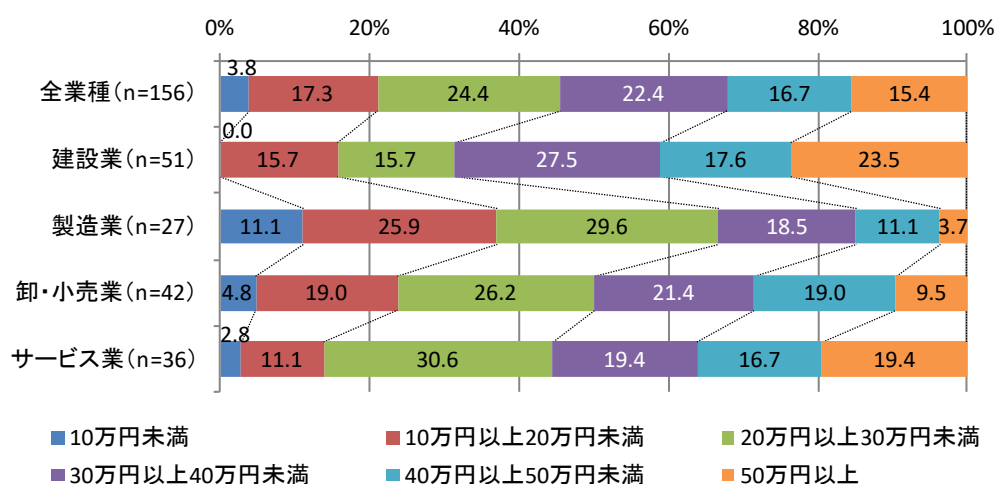
図表 18 業種別「夏季ボーナスの平均支給額」の推移



また、平均支給予定額の分布をみると、全業種では「20 万円以上 30 万円未満」の割合が 24.4%で最も高く、次いで「30 万円以上 40 万円未満」（22.4%）、「10 万円以上 20 万円未満」（17.3%）が続いている。

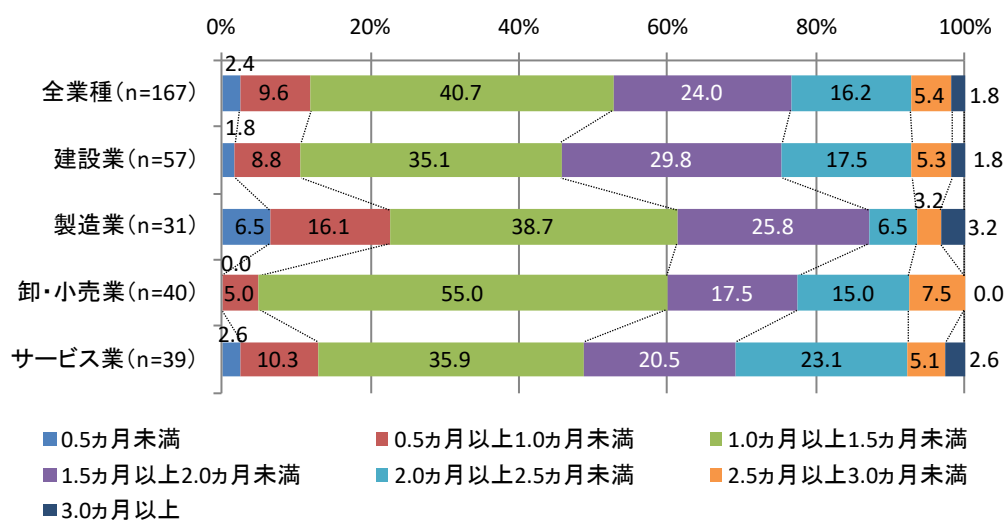
業種別にみると、建設業では「30 万円以上 40 万円未満」の割合が最も高くなっている一方、その他の 3 業種では「20 万円以上 30 万円未満」が最も高くなっている。

図表 19 業種別「夏季ボーナスの平均支給予定額」



平均支給予定月数については、全業種では「1.0 カ月以上 1.5 カ月未満」が 40.7%と最も高く、業種別にみても、卸・小売業の 55.0%を始めとして、4 業種すべてで「1.0 カ月以上 1.5 カ月未満」が最も高い割合を示している。

図表 20 業種別「夏季ボーナスの平均支給予定月数」

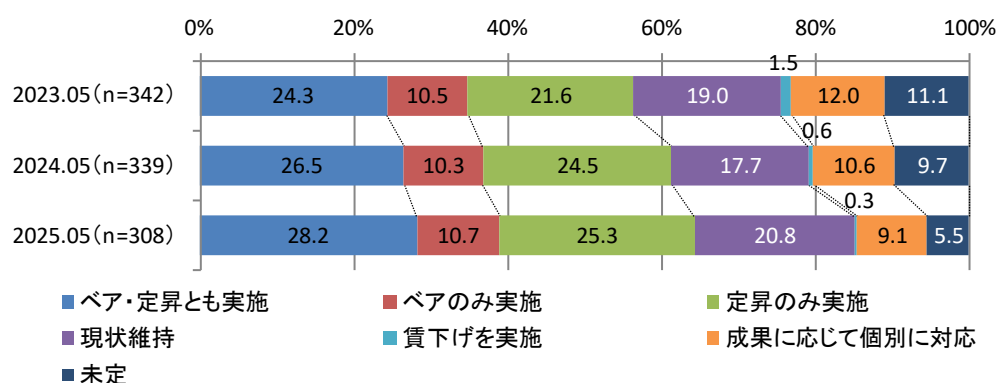


2. 春季以降の賃金改定動向について

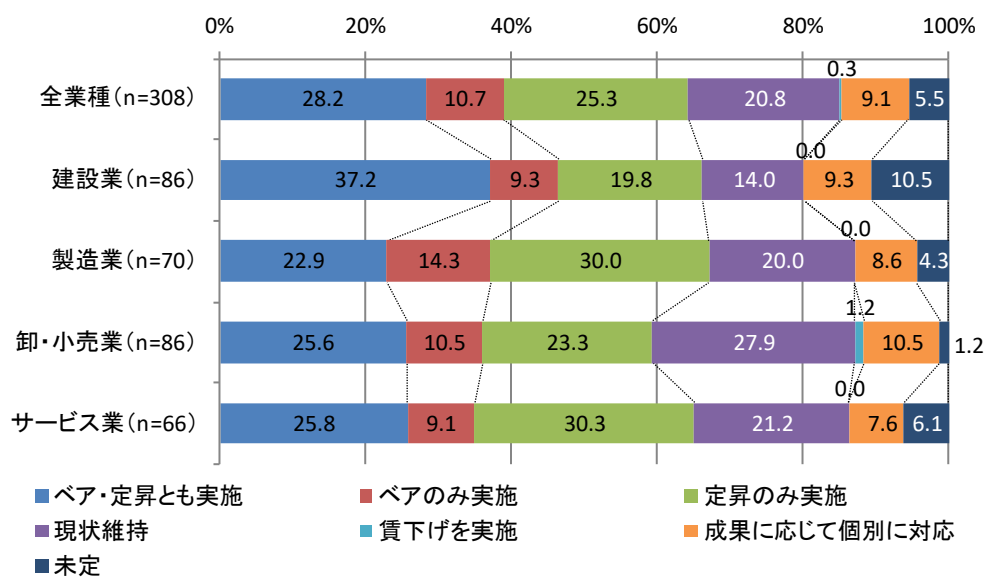
春季以降の賃金改定動向（ベースアップや定期昇給を実施する（した）か）についてうかがったところ、全業種では「ベア・定期昇給とも実施」する（した）企業は 28.2% となり、これに「ベアのみ実施」（10.7%）と「定期昇給のみ実施」（25.3%）を加えた「賃上げを実施する（した）」と回答した企業は 64.2% で、前年調査（61.3%）から 2.9 ポイント上昇した。

業種別にみると、「賃上げを実施する（した）」と回答した企業は製造業の 67.2% が最も高く、以下は建設業（66.3%）、サービス業（65.2%）、卸・小売業（59.4%）の順となっている。

図表 21 全業種「春季以降の賃金改定動向」の推移



図表 22 業種別「春季以降の賃金改定動向」



<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	21	17	23	18	79
中央	64	47	65	76	252
県南	36	46	37	20	139
合計	121	110	125	114	470

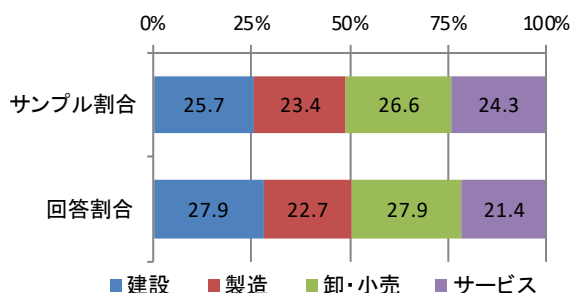
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	17	9	17	10	53
中央	43	36	47	42	168
県南	26	25	22	14	87
合計	86	70	86	66	308

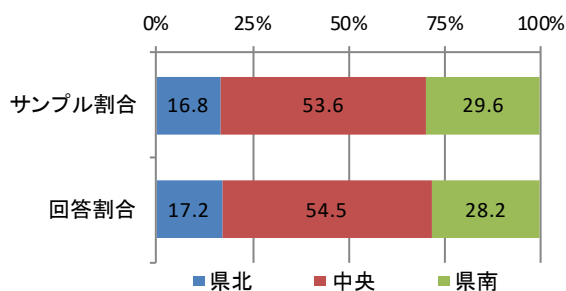
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	81.0	52.9	73.9	55.6	67.1
中央	67.2	76.6	72.3	55.3	66.7
県南	72.2	54.3	59.5	70.0	62.6
合計	71.1	63.6	68.8	57.9	65.5

(業種別：%)



(地域別：%)



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）。

● 調査期間

2025年5月1日（木）～16日（金）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
県北	大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村
中央	秋田市、由利本荘市、湯上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
県南	横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。

項目	選択肢（択一方式）		
自社の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高（建設業を除く）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益（共通項目）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手（共通項目）	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り（共通項目）	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格（製造業のみ）	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製（商）品の仕入価格（卸・小売業のみ）	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況（製造業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
手持工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

（注）各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採用している。

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、算出方法は次の通り。

例）自社の業況 D I 値

$$=（「1. 良い」と回答した企業の割合）－（「3. 悪い」と回答した企業の割合）$$

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向（良くなっているか、悪くなっているか）についても分かる。

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1.」（「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと）を選んだ企業の割合から選択肢「3.」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<https://www.fir.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研 地域政策コンサルティング部 秋田事業所 小玉／小林

・ 秋田事業所

〒010-0001 秋田県秋田市中通 3-1-41 北都銀行本店内

TEL : 018-837-1727 Fax : 018-834-5508

・ 山形支社

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-21 荘銀山形ビル 8F

TEL : 023-626-9017 Fax : 023-626-9038 E-mail : kenkyuu@fir.co.jp

URL : <https://www.fir.co.jp/>